

3類型	鈹工業品	通巻番号	5-21-007
地域資源名	プリント染色	認定日	平成21年7月1日
地域	京都府京都市	所管省庁	経済産業省

事業名:天然素材を用いた新しい染色方法による、繊維染色加工及び色材等の開発・販売

会社名:カワバタプリント
 連絡先:TEL:075-343-4817
 FAX:075-343-4818

所在地:京都府京都市下京区五条通
 室町西入東鋸屋町165番地
 林英ビル3階
 H P : <http://www6.ocn.ne.jp/~kkprint>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・京都の地域資源であるプリント染色技術を活用し、染料に天然色素(草木染に使用する色素)により、環境に配慮した安心・安全な染色方法である「新万葉染め」の加工方法と色材の開発を行う。
- ・また、天然色素は、鮮やかな色使いで合成色素には劣るとされてきたが、近年は遜色のない鮮やかな色も可能となった。
- ・染色業やアパレル業界に提案し、受注拡大を図ると共に、学生などを対象にした教材と染料の販路を図る。



【試作品のTシャツ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

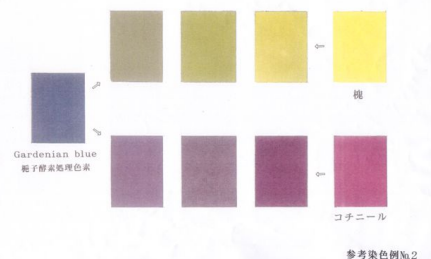
◆競争力

- ・新万葉染めは、従来の天然染料と比べて、3分の1程度の色材量で染め出しが可能であり、染色工程の簡素化により、コストを抑えることが可能である。
- ・天然染料の色材は、天然素材の中から安全で有益なものを活用するため、加工者の立場からも、消費者の立場からも環境に配慮した安心・安全な染色方法であり、コスト低減に繋がる。

◆市場性・販路

- ・国内外の天然染料は緩やかではあるが年々増加傾向にあり、国内及び海外への販路を探る。
- ・ベビー服や子供服などは、安心・安全の意識が高く、天然染料へのニーズが高い。
- ・和調のデザインを得意とするアパレル、アーティストのイベントTシャツなどの企画も行う企業への販路拡大を目指す。
- ・教材販売については、全国の中・高校の家庭科向けに販路を保有する市内業者と連携するため実現性は高い。

配合染色の例(紺・アルミ媒染)



【配合染色の例】

地域資源における関係事業者との連携

- ・学識者や地元の生産・加工・流通に関わる企業・人材と連携することで、地域への普及と活性化を図る。